

①自己中心性を抜け出て、友達・高齢者・障害者・年下の子・異性の立場に立って考えられるようにする。(思いやり)

②互いを認め合う雰囲気大切にしながら、自己肯定感をもち、自信をもって生活できるようにする。(自己実現)

③人権感覚を体験的に身につけさせるためグループ活動、インタビュー活動など、人と直接関わる活動を意図的に取り入れていく。(人間関係)

④道徳の太枠は、いじめ防止授業の例。年3回、ふれあい月間の月に実施する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	国語 『よく聞いて、じこしょうかい』 発表のマナーを知る。	理科『チョウや植物を育てよう』 生命を慈しむ心情を育てる。  社会『学校の周りを調べよう』 協力してグループ活動・発表会を行う。				国語 『わたしと小鳥とすずと』 互いに違いを認め合う。  国語 『ちいちゃんのかげおくり』 命の大切さについて考える。		社会『小平市のうつつりかわり』 人々の暮らしぶりを知り、誠実に生きる心情に気付かせる。  体育『ゴール型ゲーム』 友達と仲良くゲームを楽しむ。	国語 『三年とうげ』 異文化を尊重する。		国語 『モチモチの木』 主人公豆太の優しさ、勇気に気付く。		
特別の教科 道徳	生命の尊さ 『ヌチヌグスージいのちのまつり』 生命は過去からつながっていることを知り、生命を大切にすることを育てる。		友情、信頼 いじめ防止① 『いいち、にいっ、いいち、にいっ』 友達と互いに理解し、助け合っていくこととする態度を育てる。			家族愛、家庭生活の充実 『耳の聞こえないお母さんへ』 父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていくこととする態度を育てる。	公正、公平、社会正義 『みさきさんのえがお』 分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする態度を育てる。	友情、信頼 いじめ防止② 『たまちゃん、大喜』 お互いに理解し合って、自分と異なる意見も大切にしようとする態度を育てる。		個性の伸長 『じゃがいもの歌』 自分のよさを知り、伸ばしていくこととする態度を育てる。	生命の尊さ いじめ防止③ 『いただいたいのち』 命の尊さを知り、命あるものを大切にすることを育てる。		
特別活動	学級活動『クラスのめあて』 お互いを大切に、クラスのめあてについて話し合う。	学級活動 『当番活動の見直し』				『十四小まつり』	学級活動『なかよし〇組』 名前の呼び方、遊び方など約束事の確認		代表委員会 『ユニセフ募金』 世界の国の様子を知り、自分のできることについて考える。		『6年生を送る会』 6年生に感謝の気持ちを表す。	学級活動 『一年間を振り返りかえって』 お互いを認め合う。	
きょうだい学年・学級活動 年間を通して異学年と交流し、思いやりの心をもつ。													
総合的な学習							『お店体験』 地域の様々な人との関わり						
その他							運動会				展覧会		